

## リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議 次 第

〔 日 時 平成 28 年 5 月 18 日 (水) 14:30～16:00 〕  
〔 場 所 飯田合同庁舎 講堂 〕

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

飯田市における検討状況について

4 会議事項

(1) 有識者講話

(一財)日本総合研究所 理事長 寺島実郎 氏

(2) 意見交換

5 その他

6 閉 会

リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議  
出席者名簿

(敬称略)

職 名	氏 名
知 事	阿部 守一
飯田市長	牧野 光朗
伊那市長	白鳥 孝
駒ヶ根市長	杉本 幸治
南信州広域連合（大鹿村長）	柳島 貞康
上伊那広域連合（南箕輪村長）	唐木 一直
上伊那地方事務所長	堀田 文雄
下伊那地方事務所長	山本 智章
伊那建設事務所長	坂田 浩一
飯田建設事務所長	西元 宏任
リニア整備推進局長	水間 武樹

■総括アドバイザー

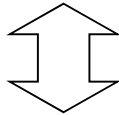
(一財)日本総合研究所 理事長	寺島 実郎
-----------------	-------

# 伊那谷自治体会議 配席図 (H28.5.18)

名古屋 JRセントラルタワー(39F 第2応接室)

寺島  
実郎氏  
○

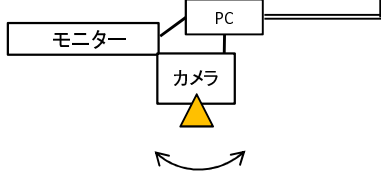
モニター



【ネット接続】  
ウェブ会議

飯田合同庁舎 講堂

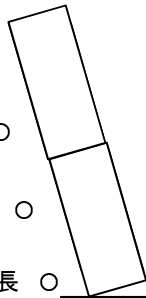
【正面】



(随行席)

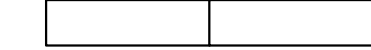
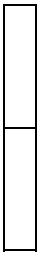


西元 飯田建設事務所長 ○  
坂田 伊那建設事務所長 ○  
堀田 上伊那地方事務所長 ○  
唐木 南箕輪村長 ○



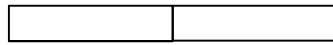
○ 柳島 大鹿村長  
○ 杉本 駒ヶ根市長  
○ 白鳥 伊那市長  
○ 牧野 飯田市長

(随行席)



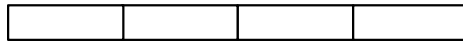
○ 山本 下伊那地方事務所長  
○ 阿部 知事  
○ 水間 リニア整備推進局長

(事務局)

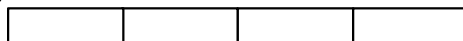


○ 今井 下伊那地方事務所地域政策課長  
○ 藤澤 地域振興課長  
○ 西澤 リニア整備推進局次長

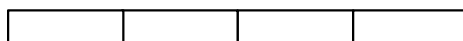
(随行席)



(報道機関)



(報道機関)



# 伊那谷自治体会議の検討体制(案)

資料1

## リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議

(事務局：長野県リニア整備推進局)

### 伊那谷自治体会議 構成員

知事【座長】  
飯田・伊那・駒ヶ根市長  
広域連合代表  
長野県  
上伊那・下伊那地方事務所  
伊那・飯田建設事務所

意見  
提言

有識者 寺島実郎氏(総括アドバイザー)  
議論全般に関し意見

報告  
提言

### 【設置】 有識者 部会 (7名程度)

広域観光・二次交通・まちづくり

- 自治体会議に3つのテーマについて検討する有識者部会を設置(相互に関連するため個別ではなく、ひとつの体制で検討)
- 「リニアバレー構想」などを踏まえ議論し、今後の方向性を提示(平成28年度中を目途)

意見

➤ 有識者による部会と連携し、検討を進める。

検討依頼

### 伊那谷自治体会議幹事会

- 有識者部会で行われた議論を受けての視点論点の整理及び検討
- 飯田市検討会議及び地元関係団体との調整
- 自治体会議開催に当たっての調整

・情報提供  
・報告

## リニア駅周辺整備検討会議

(事務局：飯田市)

### 構成員

学識経験者  
地元代表者  
各種団体代表  
長野県、広域連合等

### 【体制】

- ① トランジットハブ・道路ネットワーク部会
- ② 魅力発信部会
- ③ 環境景観部会
- ④ 交流人口拡大部会

### 【主な検討事項】

- ① 駅前広場の規模など
- ② 魅力発信施設の概要
- ③ 駅舎・駅空間デザイン
- ④ 迎賓機能、MICE機能

### 【検討スケジュール】

平成28年度に「リニア駅周辺整備基本計画」策定

連携・協議

# 長野県リニア活用基本構想 & リニアバレー構想

～ リニア中央新幹線が創る信州の未来! ～

参考資料

## 長野県リニア活用基本構想 ～地域特性に応じて3つの交流圏を設定～

交流圏	地域
伊那谷交流圏	上伊那・飯伊地域 (リニアを活かし、大都市・世界とつながる)
リニア3駅活用交流圏	諏訪・木曽・松本地域及び近隣地域 (鉄道・道路・空港による多様な移動手段を選択)
本州中央部広域交流圏	長野県全域 (2つの新幹線、道路網を基軸に本州中央部の流動を創出)



## リニアバレー構想 ～伊那谷がめざす姿～

- I 国際空港へ1時間でアクセスするグローバル活動拠点  
～世界とつながる～
- II 巨大災害時のバックアップと食料・エネルギーの新しい供給拠点  
～日本を支える～
- III 高度な都市空間と大自然とが近接した「対流促進圏域」  
～ここで豊かに暮らす～
- IV 世界から人を呼び込む感動フィールド  
～ここでふれあう～

## めざす姿を実現するための取組

### ① リニアを活かした産業振興

伊那谷交流圏

- 【グローバル活動拠点】
- 外資系企業等の中枢(本社・研究開発等)機能の立地
  - 学術・研究機関が立地する“知”の集積地の確立
  - 航空宇宙産業クラスターの形成
  - 健康・医療・介護など健康長寿を支える産業集積



旧飯田工業高校

【災害時のバックアップ・食料等の供給拠点】

- 企業の本社機能など都市機能の移転促進
- 企業経営者の居住地等の整備
- 後方医療支援・災害活動拠点としての機能整備
- 農産物ブランド化、付加価値の高いアグリビジネス展開
- 木材の安定供給体制の構築、木質バイオマスの推進

### ② 信州暮らしの魅力向上

伊那谷交流圏

【移住定住・二地域居住の促進】

- 通勤・二地域居住ゾーンなど圏域内のゾーニングの検討
- 分譲地の整備、二地域居住に必要な環境整備・情報提供
- エコロジーに着目した生活スタイルの提案

【豊かに暮らすための地域づくり】

- 伝統文化の保存継承による郷土意識の醸成と担い手育成
- 郷土愛の醸成による新たな文化の創造
- 若者を惹きつける魅力ある地域づくり



千畳敷カール

【魅力ある自然環境の保全と景観の形成】

- 南・中央アルプスなど美しく雄大な自然環境の保全
- 看板デザインのルール化など調和のとれた景観形成

### ③ 広域観光の推進

伊那谷交流圏

【広域観光ルートづくり】

- 協議会を設置し、駅を拠点とした観光ルートづくり
- 交通事業者と連携した二次交通の確保・整備

【体験型観光の推進】

- 多様な体験ツーリズムの確立、ヘルスツーリズムの推進
- フィールドスタディの誘致
- 担い手の育成、効果的な情報発信



伊那市高遠地区

【外国人旅行者の誘客】

- 外国人旅行者向け観光ルートの形成、海外プロモーションの展開、観光情報の一元化・広域的連携

【豊かな自然と実績を活かした国際交流】

- グローバル人材の育成、自然や伝統芸能を活かした国際交流の推進

### ④ 良好なアクセスの確保

伊那谷交流圏

- 高速道路へのアクセス性向上
- 高速道路と各地域の連携強化
- 駅周辺の広場・道路の整備、公共交通の路線再構築
- 乗換新駅設置など飯田線との利便性確保、飯田線の活性化

### ⑤ 魅力ある駅空間の創造

伊那谷交流圏

- 駅舎デザイン、内装への県産材利用、特色ある植栽
- 駅構内への眺望施設整備、総合案内・物販施設等の設置
- 乗換えが円滑にできる駅前広場や駅周辺駐車場の整備
- 地域住民も利用できる賑わい施設の設置

### ⑥ 山梨・岐阜県駅等との交流の拡大

3駅活用交流圏  
本州中央部交流圏

- JR中央本線の利便性の向上、高速化・快適性の確保
- 山梨県駅と諏訪・松本地域を結ぶ高速バス路線の開設
- リニア利用者拡大に向けた連携、本州中央部広域交流圏構想に向けた検討会議の開催